

# 都市構造可視化から考える

～都市を柔軟な視点で捉える～



## 神奈川県大和市街づくり総務課

# 1.都市構造の可視化

現状や課題を共有するには・・・

【Before】

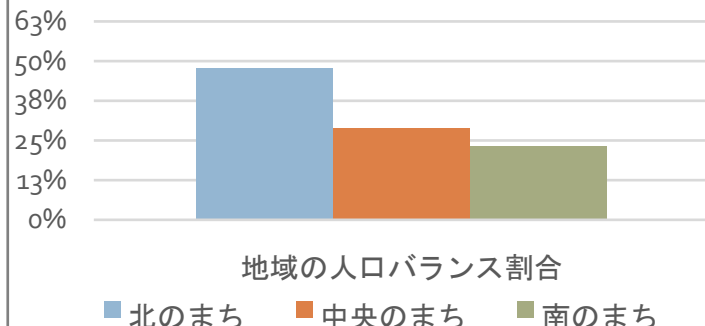
・文字、数字、表、グラフなど

大和市における  
地域間人口バランスの割合（平成26年度）

- ・北部地域（北のまち） 47.90%
- ・中部地域（中央のまち） 28.90%
- ・南部地域（南のまち） 23.20%

（出典：大和市立地適正化計画）

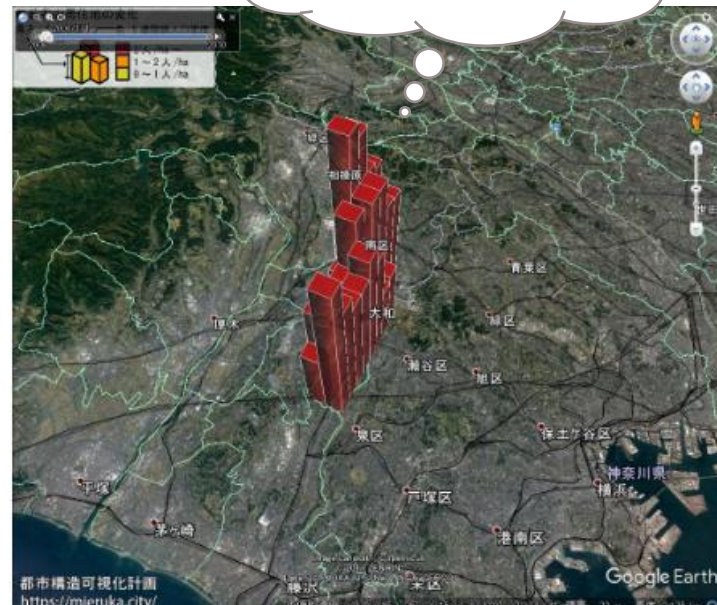
大和市の地域別人口



【After】

・視覚的に都市構造可視化

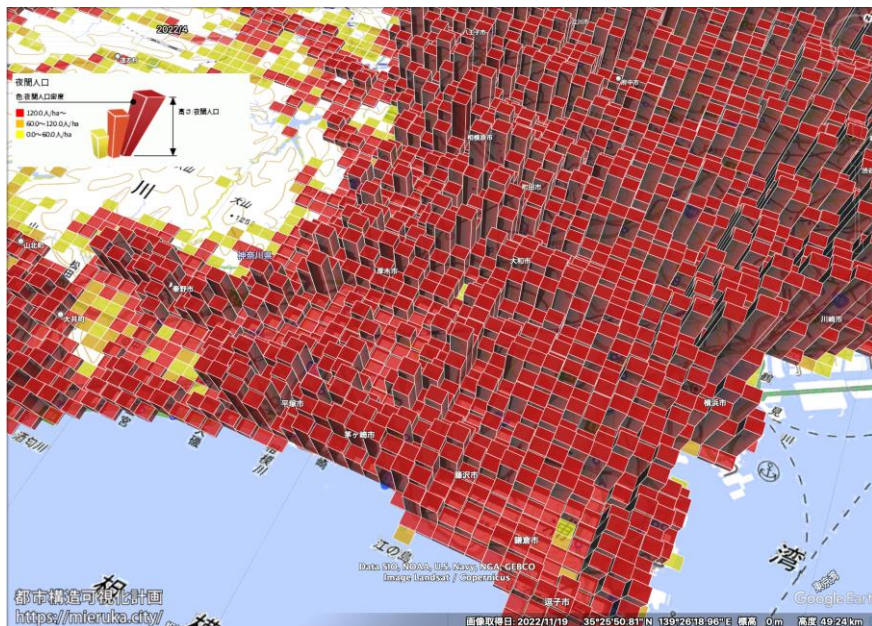
イメージしやすい



## 2.都市の構造を把握

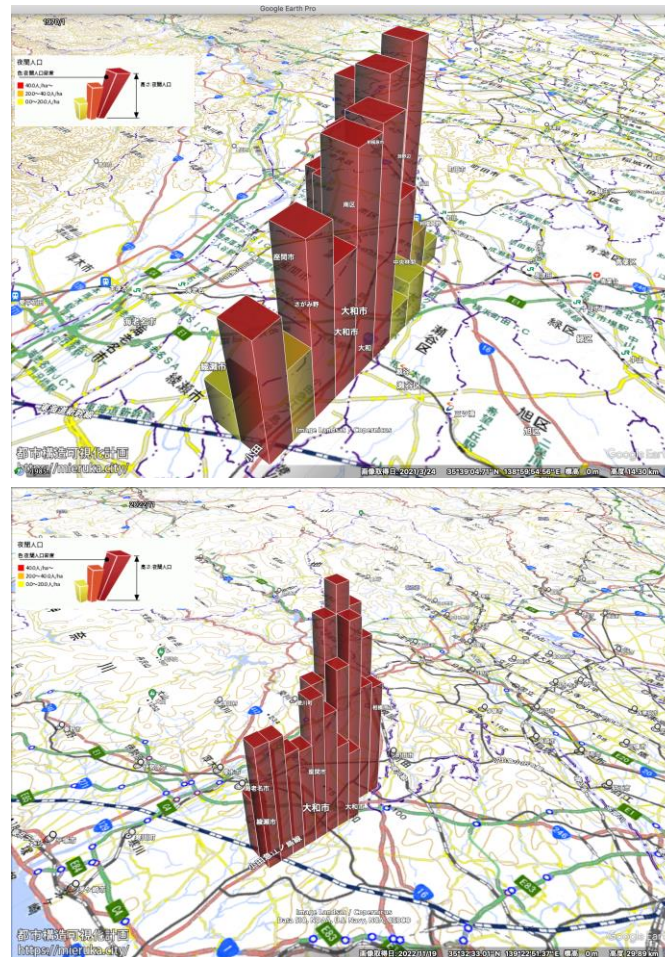
### 地域間の人口バランス

#### ▼神奈川県全域の夜間人口分布

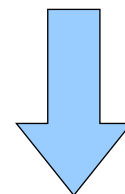


2022年

#### ▼大和市の夜間人口分布



1970年

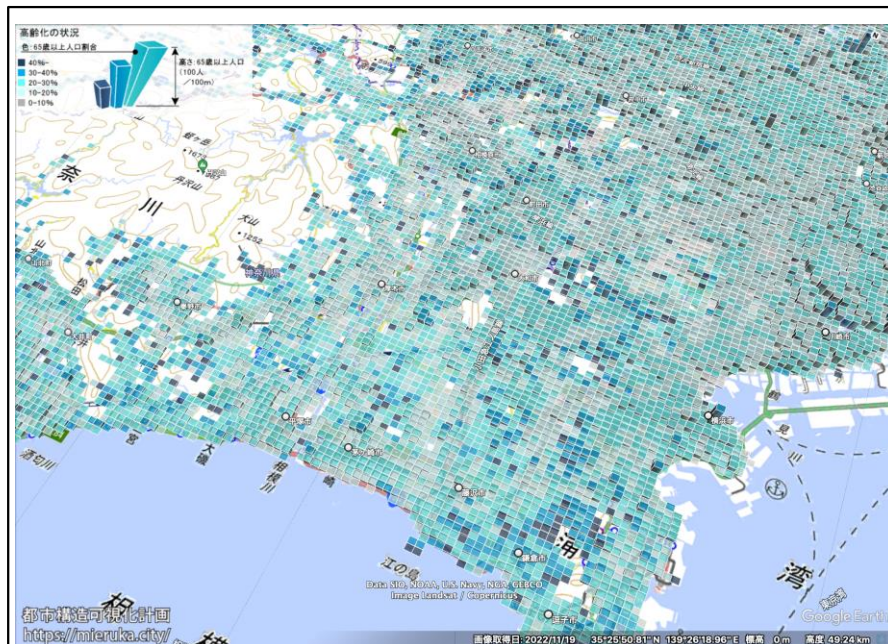


2022年



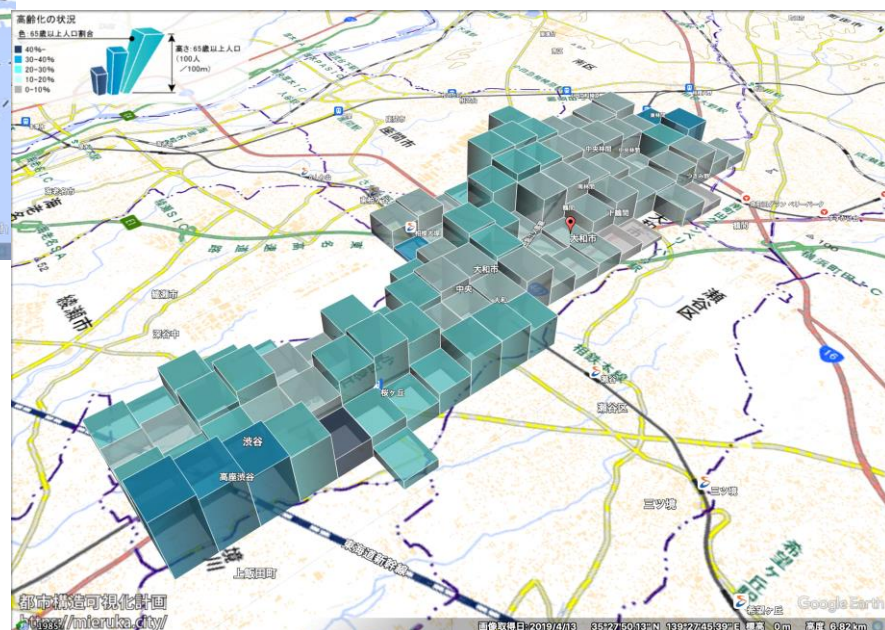
# 3.都市の構造を把握

## 世代間の人口バランス



▲神奈川県全域の高齢化の状況

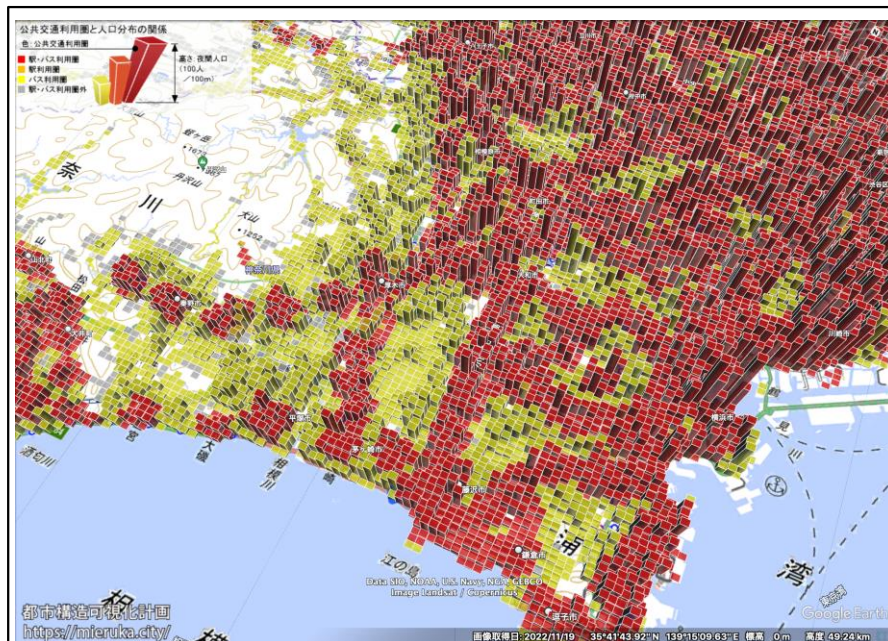
大和市の高齢化の状況▼





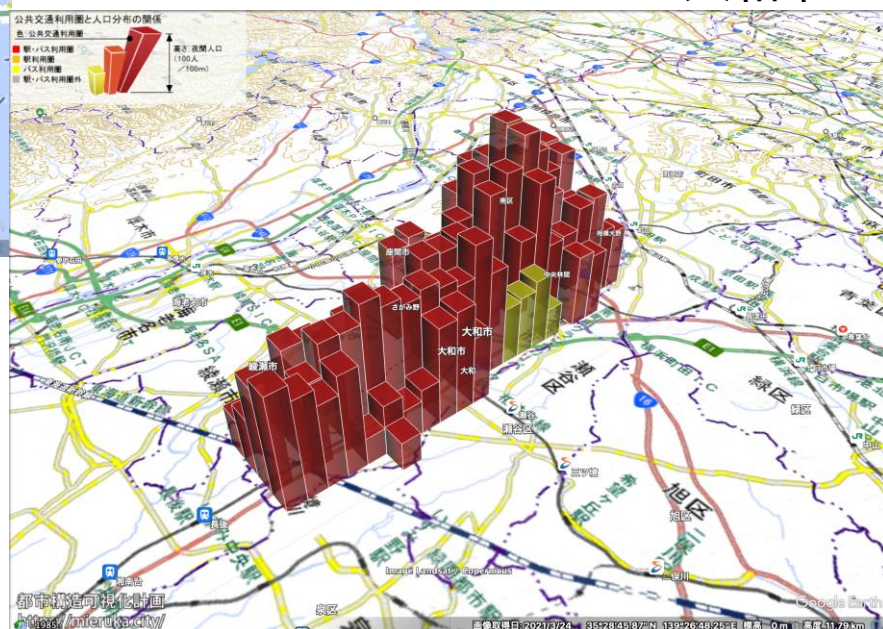
# 4.都市の構造を把握

## 公共交通利用圏と人口分布の関係



▲神奈川県全域

大和市▼



## 5.現状と課題の共有

### 都市構造の可視化から見えることは・・・



## 6.活用に向けて

### システムの環境づくりから

都市構造を可視化することで、イメージしやすいため、  
ディスカッションが活発に！！

<感じたメリット>

- ・多角的な視点で捉えられる。  
(人口、地価、公共交通利用圏と人口の関係等の視点)
- ・広い視野で捉えられる。  
(広域の状況も把握できるため、俯瞰して考えられる)
- ・アウトプットを意識した議論になる。

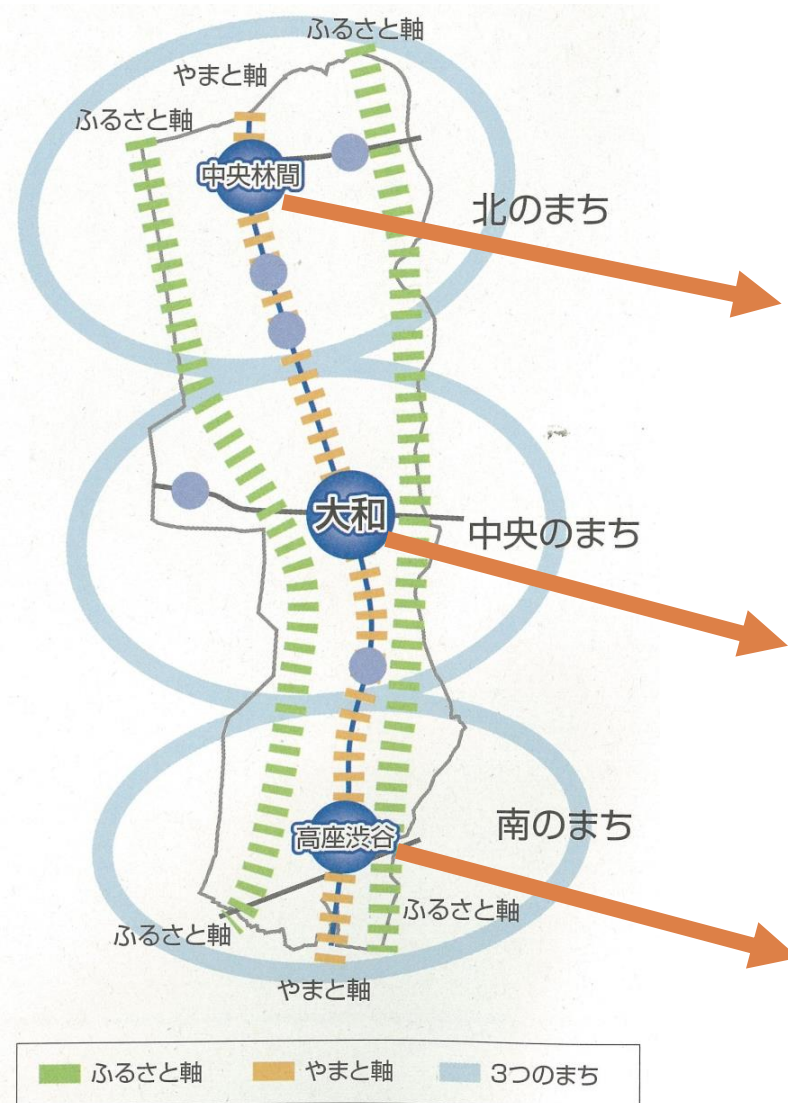
⇒**活用したい！！**

という気持ちはあるが、まずは環境づくり。

⇒市政パソコンで閲覧できる環境に。

⇒可視化サイトを身近に活用、業務に役立てることを目指す。





市民交流拠点  
ポラリス



文化創造拠点  
シリウス



高座渋谷駅前複合ビル  
「IKOZA」